



コード (分野)	22201,22301
メニュー名	・琵琶湖版 SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)を学ぼう！ ・MLGs 体操で代謝をあげて、空調に頼らない体づくりをしよう！ ・「オリンピック・スポーツを通じて学んだこと」
校園名(学年)	草津市立草津第二小学校 第5学年
講師・支援者等	・滋賀県琵琶湖環境部保全再生課 ・Fast Fitness Japan ・MLGs 広報大使 伊藤みきさん
学習名	MLGs プロジェクト、伊藤みきさん講演
教科等	総合的な学習の時間
実施日	令和4年10月21日 (金)9:30~11:30

## 《授業の流れ》

テーマ「マザーレイクゴールズ（以下 MLGs）について学び、琵琶湖の環境について考え、2030年の持続可能社会を目指そう。」



## 第一部&lt;MLGs プロジェクト&gt;

- 1 MLGs について説明を聞く。(琵琶湖保全再生課 小林さん)
  - ・ MLGs とは？
  - ・ 琵琶湖の環境について、自分たちにできることを考える。
- 2 MLGs 体操を実践する。(広報大使 伊藤みきさん、フィットネススタッフ)
  - ・ MLGs 体操についての説明を聞く。
  - ・ MLGs 体操を練習する。

\* 11月に創立50周年記念事業が開催される。そこで、5年生発表の部で今回学習したことを、参加者の皆さんに広げる。



## 第二部&lt;伊藤みきさん講演&gt;

- 1 伊藤みきさん自己紹介
- 2 私とモーグルとオリンピック
- 3 モーグル体験（動きづくり、滑走；予選・決勝・ファイナル）



## 《感想・思い》

### 児童

- ・MLGsのことが、話だけではあまりわからないけれど、体を動かして学ぶことができ、とてもよくわかった。
- ・私はみきさんの話を聞いて、結果よりもその過程の方が大切だと思った。MLGs体操の歌も一つ一つ意味があると分かり、それが琵琶湖の13の目標であることも知り、今後、それらのことを実践していきたい。
- ・私はMLGsについて学んで「より良い琵琶湖を未来へひきつぐ目標」について、心に残ったことがあった。それは「水辺や湖底も美しく」という目標だ。常に琵琶湖の周りがきれいで、美しい琵琶湖を未来へ引き継ぎたいと思った。MLGs体操も体験して、琵琶湖のためにできることを体で感じる事ができた。これからも、琵琶湖の環境をもっとよくするためにはどうすればよいのか考えていきたい。
- ・MLGs体操をして、私は今よりもっと琵琶湖を大切にしようと思った。ゴミをゴミ箱へ捨てるなど、私にできることはたくさんあることが分かった。将来も琵琶湖がきれいに保たれるようにしたい。
- ・伊藤みきさんの話を聞いて、何事も、成功することだけではなく、一生懸命がんばることが大切だと感じた。勉強で間違えてもへこたれず、次に向かって努力したい。

### 学校

- ・環境という現代の視点にマッチしたメニューで、新しい学びができることはとてもいいことだと思う。子どもたちが、今日の学びの中で何か一つでも価値あるものとして体感し、今後に生かしていける糧にしてほしい。
- ・元オリンピック選手の話を通じて直接聞いたことは、子どもたちの成長の財産になると感じた。成功体験だけではなく、失敗体験をどう乗り越えるかのヒントをいただいた気がした。

### 支援者・講師

- ・この出前授業を基本パッケージにして、いろいろな学校に広めていければいいと思った。
- ・草津第二小学校の児童さんが、活き活きと授業を受けられている様子を見て、実施することができて本当によかった。
- ・聞いて欲しい質問がたくさん出て、伝えたいメッセージを分かってくれたと感じられて、とても嬉しかった。

